

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

世界をリードするものづくり中枢都市 豊田市

生産性の向上

国際競争力の強化

安全・安心なまちづくり

世界につながる
自動車製造ネットワーク

広域的な人流・物流を
支える道路ネットワーク

空飛ぶクルマと歩行領域EV



多様なモビリティの開発

世界屈指のテストコースを併設する
トヨタテクニカルセンター下山



新たな研究開発施設

雇用を支える製造業



全国有数の製造品出荷額

自動車関連工場



ものづくり産業の集積地

凡例 — 最重点要望路線



令和4年7月

豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済、国民生活等への甚大な影響や、気候変動に伴い連年発生する大規模自然災害の深刻な被害に直面しています。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組やデジタル技術の積極的な活用、新たなライフスタイルを見据えた分散型の国づくり等、新たな時代の課題にも適切に対応しなければなりません。

世界をリードするものづくり産業の中核都市である本市においても、慢性的な交通渋滞による経済損失、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や激甚化・頻発化する風水害、明治用水頭首工漏水事案に象徴される加速化するインフラ施設の老朽化など我が国同様様々な課題を抱えています。

このような状況下において、引続きものづくり産業の中核として日本経済を牽引していくためには、感染症の拡大防止を前提に社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大に向けた生産性の向上や国際競争力の強化に取り組むことが重要であります。さらに、防災・減災が主流となる災害や老朽化に屈しない強靱なまちづくりや交通安全の確保など安全・安心な社会の構築が必要です。

これらの取組を進めるうえで、道路はポストコロナ社会の持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き人流・物流の円滑化や活性化を図る道路ネットワークの機能強化、インフラメンテナンス及びDXの推進など防災・減災、国土強靱化の加速化、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

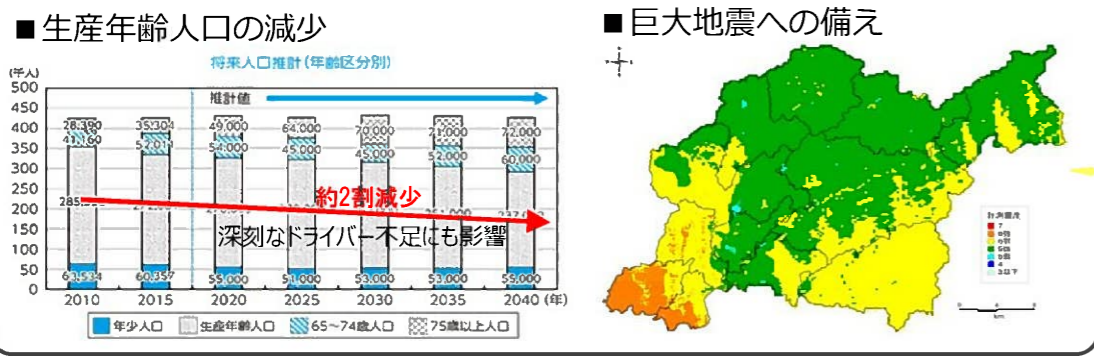
- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと**
- 2 経済活動復興や豊かで活力ある地方創りに資する道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
とりわけ、国道155号豊田南バイパスについては、開通見通しを早期公表すること
- 3 子供達の安全・安心を守るため、通学路等の交通安全対策の強化・推進と必要な予算を継続的に確保すること**
- 4 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要なとする国道、県道、市道のいずれもが道路整備・管理を長期安定的に進められるよう新たな財源を創設するとともに、令和5年度道路関係予算は所要額を満額確保すること**



都市の持続可能な成長を実現する道路ネットワークの整備

人流・物流の円滑化や活性化により生産性向上や地域活性化を図り、災害時における緊急輸送道路の機能確保など**安全・安心で成長基盤の強化に資する、豊田南バイパス・豊田北バイパスの早期整備**が必要です。

豊田市が直面する課題



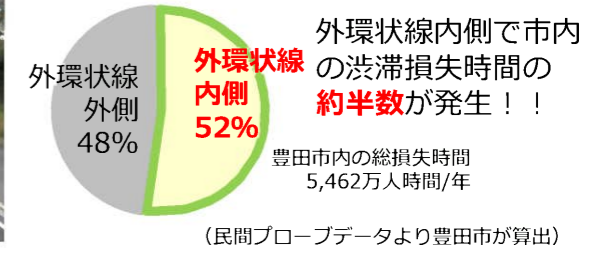
交通課題

主要な幹線道路が通過する中心市街地で多数の渋滞が発生し、市民生活や企業活動を阻害

人流・物流の円滑化が必要



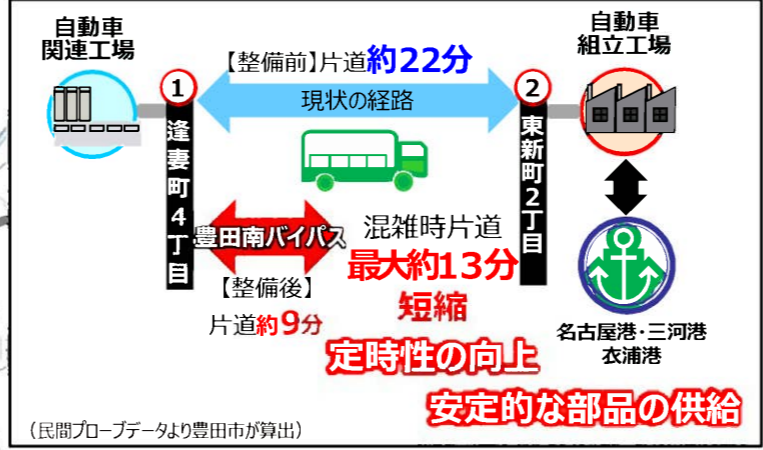
通勤時間帯の国道155号



自動車産業の一大集積地における物流の速達性や定時性を向上

豊田南バイパスの開通見通しの早期公表を強く要望

豊田南バイパス利用時の移動時間



自動車部品企業の期待

とりわけ豊田南バイパスができると渋滞を避けスムーズな輸送と定時性が確保できるため、一日でも早い開通を期待しています。

(R4.1 企業ヒアリング)

豊田南バイパス
本線用地取得率
100%
全線工事中



● 物流の効率化による生産性の向上や国際競争力の強化

開通への期待から地域開発が進展

宅地供給等を促進する北部地域

土地区画整理事業 浄水・四郷・平戸橋 5,540戸 185ha

民間投資・需要を喚起

花本産業団地の需要が高まり拡張事業を実施、民間商業施設も多数進出

四郷駅周辺土地区画整理事業 (26ha)

花本産業団地拡張事業 既設団地 (29.5ha) 拡張区域 (約5.3ha)

民間商業施設

令和3年9月全区画契約済 令和4年度一部操業開始予定

災害時には強靱な命綱として機能を発揮

一部区間の不通があっても速やかに迂回が可能

第3次救急医療施設までの救急搬送エリア等が拡充

豊田厚生病院 (第3次救急医療施設) 15分圏域の変化

【現状】	面積	【整備後】	【現状】	人口	【整備後】
約40km ²	約1.5倍	約59km ²	約11.1万人	約5.1万人 増加	約16.2万人

● 幹線道路ネットワークの環状機能強化により 災害時においても市民生活や企業活動を維持

世界につながる自動車製造ネットワーク

瀬戸市の工業団地 自動車部品、金属製品加工 機械、工業用セラミック

篠原工業団地 全16事業所
主な業種
・自動車部品製造業
・機械部品製造業
・コンクリート製品製造・販売業
・運輸業 ほか

トヨタ自動車 貞宝工場
主な生産品目
機械設備、樹脂型、鋳造型、鋳鍛型

トヨタ自動車 堤工場
主な生産品目
プリウス、カムリ、カローラスポーツ、レクサス

豊田南バイパス

名古屋港

衣浦港

三河港

● 主な産業団地、自動車関連工場
● 自動車組立工場
● 主要渋滞箇所
● 外環状線内側
● 現状の経路 (国道155号、(都)豊田刈谷線、国道153号)
● 整備後 (国道155号豊田南バイパス)
● 浸水想定区域

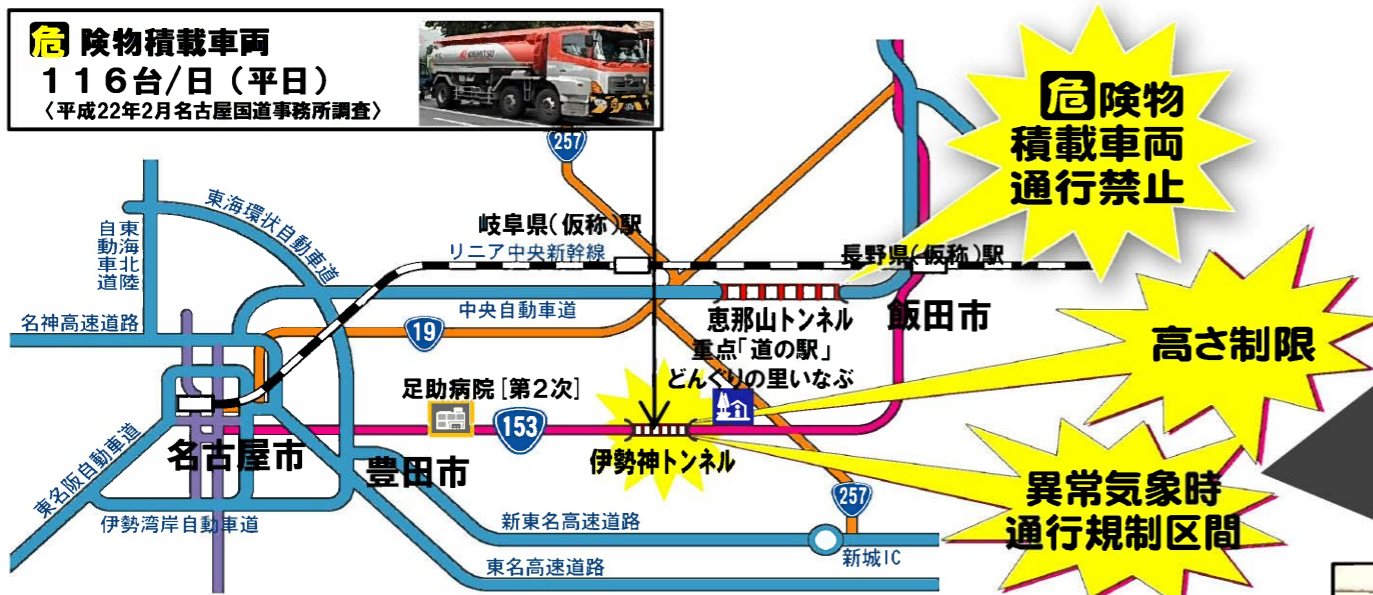
広域な危険物輸送、地域間における災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送等を支えるため、

狭隘トンネルの早期解消が必要です。

国道153号 伊勢神改良 ～狭隘トンネルと雨量規制区間の早期解消～

○国道153号は、名古屋-飯田間の**危険物輸送における唯一のルート！重要物流道路に指定！**

○**リニア開通後**は稲武から足助、**西三河をつなぐ最重要路線！**



交通課題 狭隘トンネルと雨量規制がエネルギーの安定した供給を阻害

愛知県内の直轄国道で**唯一の異常気象時通行規制区間**(連続雨量150mm)が存在！

H29年～R3年の直近5か年で5回、最大12時間を超える通行止めが発生

伊勢神トンネル

中部地方整備局管内の直轄国道で**唯一の高さ制限(H=3.5m)**が存在！

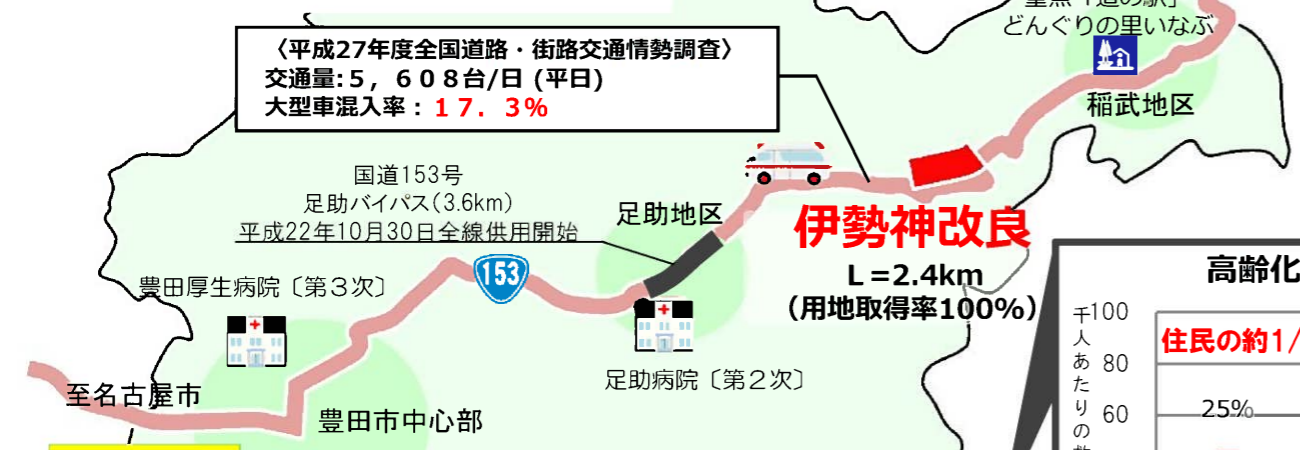
昭和35年7月完成(昭和33年制定道路構造令に準拠)

断面不足！

大型車は中央線をはみ出して走行

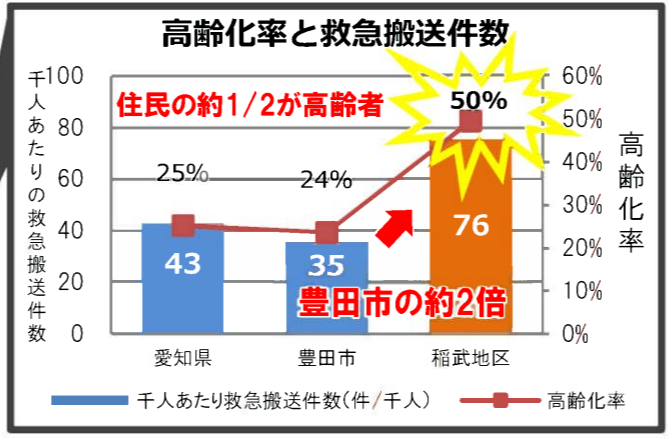
○国道153号は、稲武地区から豊田厚生病院(第3次救急医療施設)への**重要な搬送ルート**

○**市街地へのメインルート！**



地域の声

国道153号は、稲武地区の地域医療を担う足助病院への唯一の道です。天候による通行止めが解消されれば、いつでも安心して病院へ行ける、まさに**命の道**です。



伊勢神改良の早期開通を要望

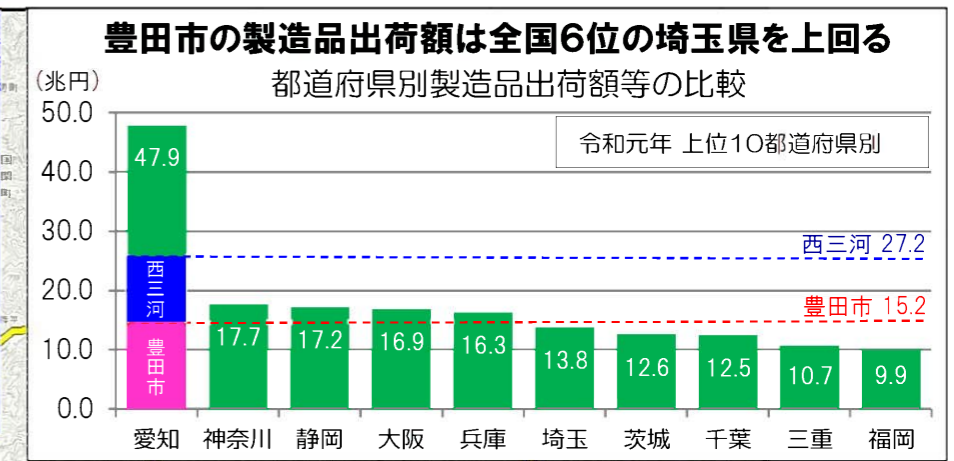
- 人流・物流を途絶えることなく確保し、人命・経済の損失を最小化
- 広域な危険物輸送の唯一のルートとして安定したエネルギー供給による生産性の向上
- 重点「道の駅」～どんぐりの里いなぶ～を拠点とした地方創生
- 『地域住民の命をまもる』第2次救急医療施設や『命の砦』第3次救急医療施設へのアクセス性が向上

301 ものづくり産業の国際競争力強化に向けた道路整備

国際競争力・都市間競争力を高め、更なる産業の活性化を図るため新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

国道301号 松平バイパス～トヨタテクニカルセンター下山(Toyota Technical Center Shimoyama)へのアクセス道路整備～

- 下山地区に新たな研究開発施設として開設されたトヨタテクニカルセンター下山は、豊田市が更なるものづくり中核都市としての持続的成長に資する重要な施設です。
- 施設への安全で円滑なアクセス道路を確保するため、**国道301号の整備は最優先事業**です。



造成地引渡し完了
 (令和3年3月24日)
 事業面積 650.8ha
 予定従業員数 3,850人
 通勤及び関係車両 3,700台/日
 (うち7割が国道301号を利用)
交通量が約1.3倍に!

ものづくりの技術革新を支える研究開発機能の集積地
トヨタテクニカルセンター下山
 令和5年度より本格稼働予定(令和元年より施設の一部運用開始)

- 人流・物流の円滑化や効率化による生産性の向上等、経済活動を支援
- 第2次緊急輸送道路の4車線化により、緊急時の避難・救助機能を向上

※松平橋～大内町区間において開通区間と旧道(九久平交差点経由)の所要時間を比較

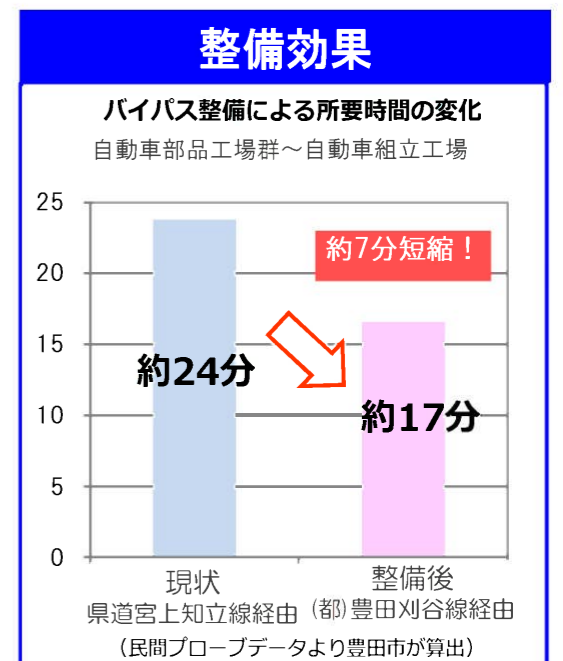
ものづくり産業の基盤を支え、高規格幹線道路へのアクセス性を高める道路整備

国際競争力の激化や労働人口の減少に対応するため、**物流を円滑化し、生産性の向上に資する**道路の整備が必要です。

(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス ～刈谷スマートICへのアクセス道路整備～

○豊田市の南部地区は、**自動車産業における主要な工場が集積**しており、**豊田南ICや周辺幹線道路に交通が集中**するため、地域の主要渋滞箇所を中心に慢性的な渋滞が発生しています。

○**円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通環境を実現**するため、**(都) 豊田刈谷線の整備**が必要です。



交通課題

一般県道宮上知立線、国道155号、国道419号、豊田南IC周辺で**主要渋滞箇所を中心に渋滞が発生**
県道宮上知立線の著しい渋滞 (写真①)



住宅地へ流入する通過交通 (写真②)



- 工場間や刈谷SICへのアクセス性が向上し、国内外に向けたサプライチェーンを強化
- 通過交通や大型車交通の機能分担により、現道区間の混雑の緩和や安全性を向上
- 県道宮上知立線の代替機能を発揮、ダブルネットワーク化により災害発生時においても迅速に交通を確保



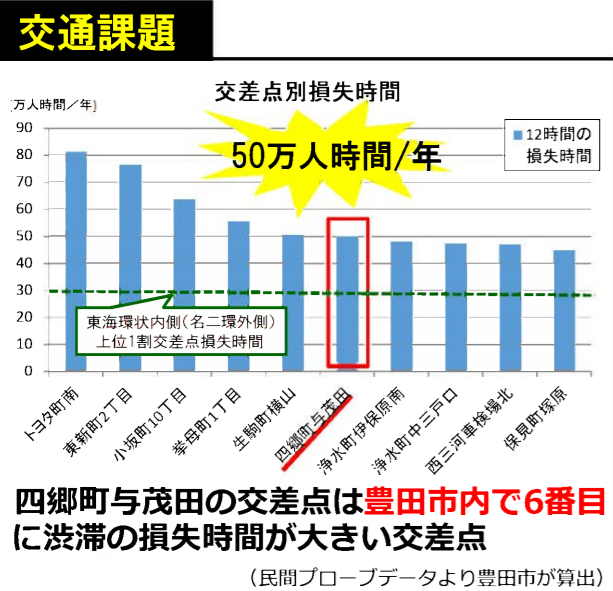
※ 乗用車輸出台数 出典：名古屋税関
※ 工場生産台数 出典：トヨタ自動車HP

円滑な人流・物流を確保し、定住人口の増加や、生産性を支えるため、区画整理事業や産業団地の拡張事業に合わせた道路の整備が必要です。

国道419号 四郷拡幅 ～交通需要の増加に合わせた4車線化整備～

○現在、国道419号周辺では、四郷駅周辺での区画整理事業や花本産業団地の拡張事業などを推進しており、今後、事業の進展に伴い交通需要が増加することが見込まれています。

○既存の主要渋滞箇所を含め、円滑な市民活動、産業活動を確保するため、**国道419号の早期の4車線化整備**が必要です。



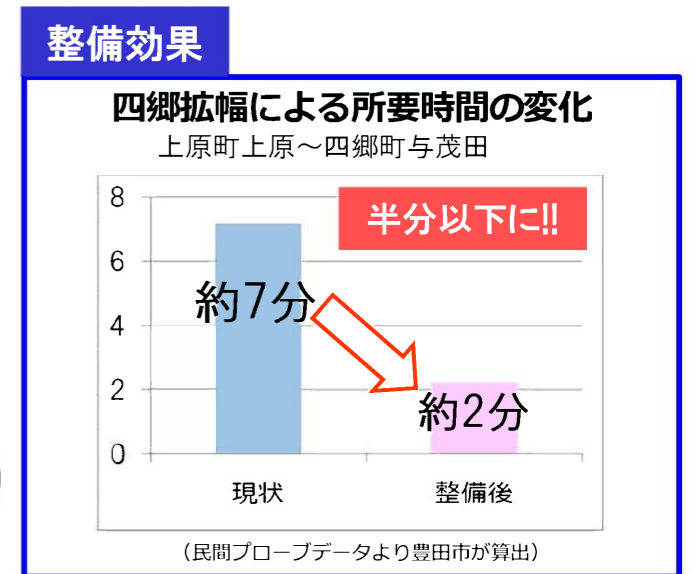
通勤・帰宅時には1kmを超える渋滞が発生

右折車両による渋滞状況 (四郷町与茂田交差点) (写真①)



●道路整備による期待感から土地利用が高度化

花本産業団地	18区画(計画含む)
四郷駅周辺土地区画整理事業	731戸(計画含む)
民間商業施設	12店舗(R4.5時点)



●交通の円滑化が民間投資・需要を喚起

通学路等における交通の安全・安心の確保

通学路等における子供達の安全・安心を守るため、地域の実情に対応した**交通安全対策の強化・推進と必要な予算を継続的に確保**することが必要です。

国道153号 交通安全対策 歩道整備事業 (直轄事業)



勘八地区



中学校の通学路に歩道を整備 (令和4年度新規事業化)

小田木地区



小中学校の通学路に歩道を整備

名古屋圏と三河山間部を結び、恵那山トンネルを回避する危険物積載車両の代替路線である国道153号において、歩道整備により歩行者等の安全性が向上

第11次豊田市交通安全計画 (令和3年12月策定)

交通安全対策の3つの柱
 ①道路交通環境の整備
 ②交通安全思想の普及徹底
 ③先端技術の活用及び調査研究の充実

目標・計画期間
 令和7年までに死傷者数1,000人以下
 (令和2年1,266人の20.6%減)

令和3年
 交通事故死傷者数
 愛知県下 4位
 (交通事故死者数
 愛知県下 3位)

3つの柱に基づく継続的な交通安全対策の推進が必要

①道路交通環境の整備

住宅地に流入する通過交通

幹線道路における交通安全対策の推進

生活道路と幹線道路の機能分化

(都)豊田刈谷線整備

踏切の除却

若林駅周辺 イメージ

名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業

自転車通行空間整備

矢羽根型路面表示

生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備

通学路における合同点検の結果を踏まえた交通安全対策

対策箇所数 144箇所
 ハード対策 128箇所

対策前 対策後

路面表示による運転者への注意喚起

ゾーン30

面的速度規制と物理的な速度抑制装置

押しボタン式横断者明示標識

②交通安全思想の普及徹底 ③先端技術の活用及び調査研究の充実

ビッグデータを活用した事故多発地点対策

追突事故多発地点における対策事例

自転車交通ルール周知

トヨタ自動車ラグビーチームトヨタベルブリック所属 わがまちアスリート
 加藤電聖選手 福田健太選手
 車も自転車も おもいやり・ゆずりあい!!
 ドライバー向け「自転車通行ルールの啓発動画」

新たな技術の実装に向けた実証の推進

スマートポール実証実験 ヒヤリハットデータベース構築
 豊田市・トヨタ自動車・トヨタモビリティ基金・豊田都市交通研究所が共働で「ジコゼロ大作戦」を展開

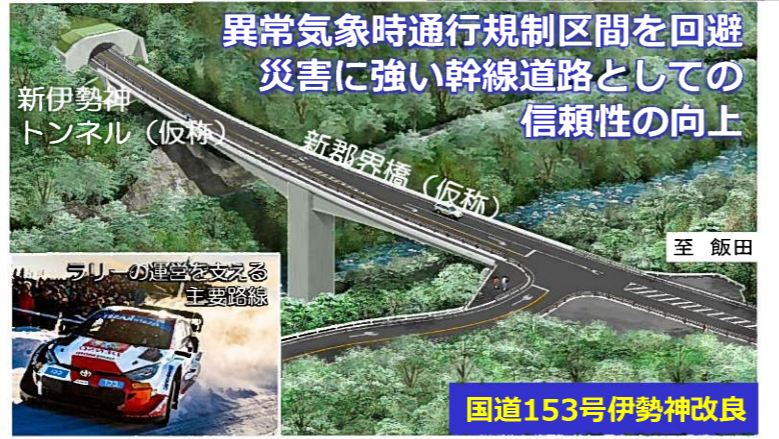
交通事故ゼロの豊田市を目指す

災害に屈しない強靱なまちづくりや豊かで活力ある地方の創生

災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全な社会の構築や都市・中山間地域を問わず持続可能で賑わいのある地域・まちを創出するため、**防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等の着実な推進に向けた予算の確保**が必要です。

防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム (中部ブロック版) (直轄事業)

◆災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



◆道路施設の老朽化対策、土砂災害防止対策



◆デジタル化等の推進



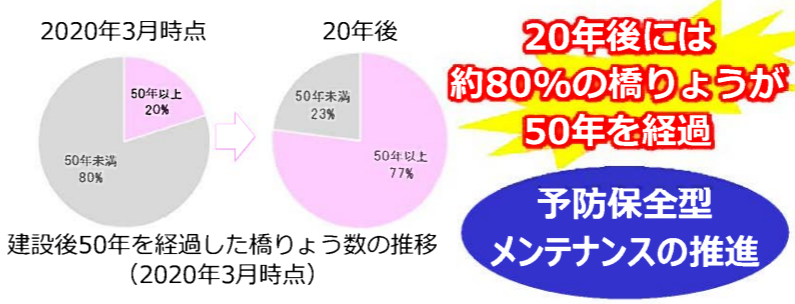
● 安全・安心を確保し、災害から国民の命と暮らしを守る

計画的なメンテナンスのための予算の確保

豊田市が管理する主要な道路インフラ

道路管理延長	: 約2,550km	愛知県下 2位
橋りょう	: 約1,200橋	愛知県下 3位
横断歩道橋	: 40橋	愛知県下 1位

愛知県下トップクラスの道路施設管理数



- 維持管理事業費の縮減・平準化
- 老朽化を起因とする重大事故ゼロ



豊田市公共施設等総合管理計画 (H29.3策定)

豊田市道路施設管理計画 (H29.3策定)

舗装	橋りょう	横断歩道橋	トンネル	シエッド	大型カルバート	道路付属施設	道路土工構築物
189km	1,183橋	40橋	3本	2基	8箇所	門型標識:5基	646箇所

1巡目の橋りょう定期点検結果(H26~H30) 約120橋(約10%)が修繕対象に

- 長寿命化修繕計画に基づき修繕を実施 114橋(約96%)完了 (R3末時点)
- 将来を見据えた持続可能で適正な維持管理

重点道の駅「どんぐりの里いなぶ」～地方創生・防災・観光拠点～



- 様々な機能が集約し、中山間地域の暮らしと経済活動を支える小さな拠点
- リニア開業を見据え、豊田市の北の玄関口として国内外に魅力を発信

※出典: 中部地方整備局中部技術事務所ホームページ (<https://www.cbr.mlit.go.jp/chugui/dx/gaiyo/index.html>)

豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



持続的な経済成長の実現

- 物流ネットワークの機能強化**
- 国道153号 豊田北バイパス
 - 国道155号 豊田南バイパス
 - 国道301号 松平バイパス
 - (都)豊田刈谷線(一般県道宮上知立線バイパス)
 - ・主要地方道豊田安城線(榑塚西町～福受町)
 - ・(都)高橋細谷線
- 高規格幹線道路へのアクセスの強化**
- 国道419号(四郷拡幅)
 - ・国道301号 益富拡幅
 - ・(都)豊田則定線(寺部町～高橋町)
 - ・国道419号(西中山バイパス)
- 日常生活移動の円滑化**
- ・国道419号 藤岡飯野交差点
 - ・主要地方道豊田明智線平戸橋西交差点

豊かで活力ある地方創り

- 市域の一体性・交流を支える道路の整備**
- ・国道420号 足助バイパス
 - ・国道473号(和合町)
 - ・主要地方道足助下山線(簗林町)
 - ・国道257号(中当町)
 - ・国道301号 根引林添バイパス
 - ・主要地方道足助下山線(大沼町)
 - ・主要地方道豊田明智線(浅谷町～須測町)
 - ・主要地方道岡崎足助線(鍋田町)

市民の安全・安心の確保

- 緊急輸送道路の信頼性の向上**
- 国道153号 伊勢神改良
 - ・国道153号、国道155号の防災対策
 - ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策
 - ・国道153号、国道155号の橋梁の耐震対策
 - ・一般県道豊田環状線の橋梁の耐震対策
 - ・国道153号勘八地区、小田木交通安全対策

凡例	
 	重点要望事項 (国事業)
 	重点要望事項 (愛知県事業)
 	要望事項 ※○は最重点要望事項

令和4年7月26日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長

太田稔彦

豊田市議会議長

板垣清志

豊田商工会議所会頭

三宅英臣